

## 教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任助教公募

平成28年12月19日

各国公立大学（学部）長 殿  
各関係機関の長 殿

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
教育関係共同利用拠点水圏ステーション特任教員候補者選考委員会  
委員長 山羽 悦郎

### 教員の公募について（依頼）

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター（以下、「センター」という）におきましては、下記の要領により、文部科学省教育関係共同利用拠点「寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点」（付記1参照）に関わる教員を公募することになりました。つきましては、貴学・貴施設関係者に周知くださいますとともに、適任者のご推薦をいただきたく、ご依頼申し上げます次第です。

### 記

1. 職種： 特任助教・1名
2. 任期：平成30年3月31日迄  
※業績などにより、平成34年3月31日迄の期間において、単年度単位で契約の更新を行うことがある。
3. 所属・分野など：（付記2を参照）  
担当ステーション：水圏ステーション
4. 勤務地：  
水圏ステーション厚岸臨海実験所（〒088-1113 北海道厚岸郡厚岸町愛冠1）
5. 応募要件：  
（1）博士の学位を有する方

海洋生態学，並びに関連する分野において，優秀な業績，教育・研究能力を有する方（付記2を参照）

（2）学内外の学生・大学院生などを対象とした臨海実習や外来利用学生の受け入れなど，教育関係共同利用拠点にかかる業務に関して，厚岸・室蘭両臨海実験所の施設・設備を積極的に活用して，その企画・遂行に責任を持って取り組める方

（3）厚岸・室蘭両臨海実験所およびその他の水圏ステーションの地方施設やセンターの野外研究施設などの管理に意欲と責任感をもって参加しうる方．地方施設での勤務，研究，社会教育を含む地域との諸関係などを全うできる方

（4）日本語および英語で教育が行える方

6. 応募書類：（1）履歴書 1通（顔写真付き）

（2）研究業績目録 1部（様式に基づいて記入してください）

学術論文（査読制の有無）・学位論文・著書・総説・教育業績に分けて記載してください．教育業績には，講義・実習の担当やその他の大学内外における教育活動の参考となる事項，および，国際的・全国的シンポジウムのオーガナイザーや招待講演・各種受賞・科研費などの競争的研究費や委託研究費の獲得状況なども記載してください．

（3）主要論文の別刷またはコピー 5編以内，各6部

（4）「これまでの教育および研究の概要など」（2,000字以内）1部  
これまでの教育・研究および社会貢献などに関する活動について記述してください．

（5）「応募にあたっての抱負など」（2,000字以内）1部  
採用後における教育・研究の展開に関する抱負，特に教育関係共同利用拠点の運営に関する抱負などを記述してください．

（6）応募者について照会できる2名の氏名と連絡先（ただし，応募者は照会者に連絡を取る必要はありません）．

7. 選考方法：書類選考および面接（必要と認めた場合）．面接を行う場合，交通費などは支給されませんので，あらかじめご了解ください．

8. 応募期限：平成29年1月27日（金）必着

9. 採用予定日：平成29年4月1日

10. 応募書類提出先：

〒060-0811 札幌市北区北11条西10丁目

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
係長（人事担当） 宛  
（「厚岸特任助教公募」と朱書きし，書留で郵送してください。応募書類  
は原則として返却いたしません。）

11. 問い合わせ先：

北海道大学北方生物圏フィールド科学センター  
水圏ステーション 七飯淡水実験所 山羽 悦郎（やまは えつろう）  
TEL：0138(65)2344；FAX：0138(65)2239  
E-mail：eyamaha[AT]fsc.hokudai.ac.jp  
（[AT]を@に入れ替えてメールを送信してください。）

付記

1) 平成24年7月より水圏ステーション厚岸臨海実験所と室蘭臨海実験所は文部科学省教育関係共同利用拠点「寒流域における海洋生物・生態系の統合教育の共同利用拠点」に認定されています。平成29年4月1日からは第2期プログラム「寒流域における海洋生物・生態系統合教育の国際的共同利用拠点」として実施される予定です。詳細については (<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/KANRYU/>) をご参照ください。

2) 「センター」は，研究林・牧場・農場・植物園・臨海実験所などの施設を統合して設立された学内共同利用施設です。教員は，森林圏ステーション・耕地圏ステーション・水圏ステーション（本公募のステーション）のいずれかに所属し，各施設およびセンターの管理運営にあたるとともに生物資源創成領域・共生生態系保全領域・持続的生物生産領域・生物多様性領域・生態系機能領域・生物群集生態領域からなる教育研究部（領域）に所属して，教育・研究を行っています。「センター」，水圏ステーション，および厚岸臨海実験所と室蘭臨海実験所の詳細につきましては，それぞれのホームページ（センター：<http://www.fsc.hokudai.ac.jp>，厚岸：<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/>，室蘭：<http://www.fsc.hokudai.ac.jp/muroran/>）を参照してください。現在，水圏ステーションは，教授5名・准教授4名・助教6名（うち厚岸臨海実験所は教授1名・助教2名）で構成されています。